

2020年10月8日

国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンドへの投資について ～社会課題解決に向けた、未来を創る教育・研究機能向上への貢献～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、国立大学法人東京大学(以下、東京大学)が発行するソーシャルボンド「東京大学 FSI 債」に18億円投資することを決定しましたので、お知らせいたします。本債券は、本邦国立大学法人が初めて発行¹し、株式会社日本格付研究所よりソーシャルボンド・フレームワーク評価を取得した債券です。

東京大学は、大学の使命である教育と研究に加え、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識しており、より良い未来社会「Society5.0²」の構築に向けた協創の効果的な推進を通じて、社会変革を実現することを目的に、「FSI(Future Society Initiative:未来社会協創)事業」に注力しています。2017年にはFSI推進本部を設置し、SDGsに貢献する様々な研究教育プロジェクトを取りまとめ、分野の壁を越えた相乗効果が見込めるプロジェクト間の協働を進めています。さらに、研究成果の社会還元と社会課題を基礎研究へ反映させるサイクルの確立を目指し、産学協創推進本部を設置しており、産業界との連携・社会課題解決に資するイノベーションの創出に取り組んでいます。

本債券によって調達された資金は、東京大学におけるFSI事業の取組みに充当されます。具体的には、国際求心力の維持・強化を図るための最先端大型研究施設の整備を行うほか、ネットワークおよびデータ活用環境の整備や、学内オンライン講義スペースの拡充等の施設整備等、ウィズコロナ・ポストコロナ社会に適合したキャンパスのサイバー化・スマート化の取組に活用されます。

当社は、本債券への投資を通じて安定収益を確保するとともに、社会課題解決に資するイノベーション創出等の東京大学の取組みを資金面からサポートします。また、本債券による資金調達は東京大学の財源多様化に資するものであり、経営裁量の自由度の高まりを通じて教育・研究機能の向上につながるものと期待しています。

今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資に積極的に取り組んでいきます。



【本債券の概要】

発行体	国立大学法人東京大学(R&I 格付:AA+, JCR 格付:AAA)
発行額	200億円
償還期間	40年

¹ 国立大学法人の債券発行には文部科学大臣の認可が必要。本債券は、文部科学大臣と財務大臣と協議を実施の上、発行に至った。

² サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。